



グラフィックス用
インクジェット
プリンタ
PackPost社の
用途事例

ビデオジェットが実現する、 PackPost社の郵便物における高速 の住所印字とパーソナライズ

PackPost社は、英国バッキンガムシャー州を拠点とする大手郵便ソリューションプロバイダーです。同社の顧客は多国籍の著名な大企業から中小企業まで幅広く、パンフレット、運送業者、ポリフィルム、封筒、ハガキへの印字要件に対応する完全な印字および郵便ソリューションを提供しています。

PackPost社は、購読予約出版、出版業、通信販売、小売業、レジャー、チャリティ分野に特化した企業を対象に事業を展開しています。イギリスおよび海外に郵送するための同社のデータ管理、パーソナライズ、通信販売、郵便コンサルタントサービスでは、プロフェッショナルなサービス提供に適合する、包括的な印字および住所印字ソリューションが必要です。

景気が停滞しているにもかかわらず、同社は成長を続けており、インクジェット印字の需要が増加しています。このような需要に対応するため、PackPost社の製造チームは、12時間シフト/週5日の過酷な稼働を続けており、週に平均 1,500,00 パッケージを処理しています。

「ビデオジェットの機器は当社のお客様の要件を満たすだけでなく、将来のニーズにも対応できるという自信を与えてくれます」

Trudy Marshall 氏、販売・マーケティングディレクター
PackPost社



出力は素材によって異なり、印字速度は効率性を確保するために最大化されます。



PackPost



高速用途を前提条件として、PackPost社は、バーコードやグラフィックスの印字に関して最高水準の技術を確認するため、既存のプリンタに代わる業界最高の住所印字装置を探していました。

国際郵便の検討事項や、最近の同社のプロセス変更により、印字要件を大幅に改善する必要がありました。バーコードグラフィックスの品質、外国語の文字、縦方向の印字に対する業界の要件もまた、同社の組み立てラインに新しいグラフィック印字機器を設置するニーズを高める要因となりました。

PackPost社の以前のインクジェットシステムは、顧客の印字技術に対する需要に対応することができず、新しいクライアントの要求にも応えることができませんでした。このためPackPost社は代替のメーカーを検討することとなったのです。

販売・マーケティング責任者の Trudy Marshall氏は、こう述べています。「高品質のバーコードを印字できる機能が必要になったことが変更の理由でした。高品質のグラフィック画像が必要なのです」

生産管理責任者の Calvin Drury氏はこう付け加えます。「変更が必要な時期でした。既存の機器の維持費が膨らんで、悩まされていたからです。機械的な問題からダウンタイムが頻繁に発生し、メンテナンスプログラムは時間がかかるうえ、包括的でもありませんでした」

Trudy氏はこう続けます。「新しいサプライヤを探していた時、私たちはビデオジェットを利用しているさまざまな郵便業者に電話したのですが、BX マシンについてとても肯定的な意見が返ってきました。また、ビデオジェットが提供している製品サポートも調査しましたが、それにも感銘を受けました。すばらしいデモを見せてもらい、既存の機器と交換するためにビデオジェットからもう3台機器を購入することにしました。年末の投資額は250,000ポンドにまで増加しました」



郵便ソリューション業界は薄利多売なので、グラフィックス業界の住所印字機に求める主なメリットは品質と生産性です。ダウンタイムの削減が重要であり、汚れたりしないようにインクは速乾性が求められ、印字の品質がフィルムと他の印字対象製品すべてで一貫している必要があります。

ビデオジェットは、PackPost社の印字要件を満たすだけでなく、新しいオフラインの校正機能によりグラフィックス生産プロセスで貴重な時間を節約できるソリューションを提示しました。データ処理チームとアカウントチームはオフライン校正を通して、プロジェクト全体をお客様と電子的に管理することができます。そして、印字の準備ができればファイルを生産チームに簡単に送信できます。

「当社の生産ラインは時間の影響を非常に受けやすく、オフラインで校正できると1ジョブあたり2〜3時間の節約になります。もう製造スタッフに印字サンプルを設定させ、データクライアントサービスチームにコピーの校正をお客様とさせる必要がありません。これにより、製造スタッフは郵送納期を達成するために重要な作業に集中できます」

さらに、ソフトウェアインターフェイスのTrue Type フォント (TTF) により、PDF 校正で表示されている通りに生産ラインで印字されることが保証されます。これにより、書体に一貫性がないという問題を防ぎ、顧客の望むものを印字することが可能になります。これは郵送業者の顧客にとって大きなセールスポイントになります。「TTFのおかげで、外国語の文字を印字できるため、世界中の国々に郵送できるのです」

プリンタのヘッドを回転できることにより、裏ページを縦書きデザインにできることは、エンドユーザーにとってのメリットになります。「前面を回転できることは大きな機能です。通常、横書きのみのデザインをリクエストしなければなりません、これにより柔軟性が向上しました。縦書きバックのTTFの回転によって、以前には不可能だった当社の多くのお客様の要件に応えることができます。以前は、印字の制約に合わせるため、お客様はフォントを回転させて裏パネルのデザインを調整する必要がありました」

「ダウンタイムが削減されました。
一度起動すれば、もう何の問題も
起きません」

Calvin Drury 氏、生産管理責任者
PackPost社



Videojet BX の高品質の印字により、PackPost社はバーコードの認定評価を達成できました。

Videojet BX の高品質の印字により、PackPost社はバーコードの認定評価を達成できました。「バーコード認定はこの業界で重要です。これを実現するには、1 インチあたりのドット数が基準セットを満たす必要がありますが、ビデオジェットの機器はこれらの基準を満たすのです」

ビデオジェットの機器は、バーコードスキャナが情報を処理できるように、機械が読み取れる明瞭なバーコードの印字を保証します。高精度のスキャン可能なバーコード印字を保証することで、取引先との関係を改善し、読み取り不能な不正なバーコードを修正する無駄な時間を省いて、ビジネスをより効率的に行うことができます。

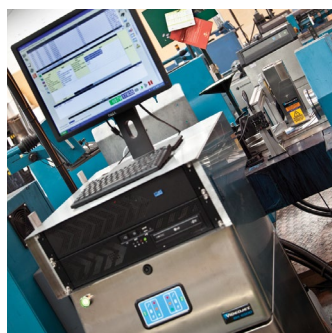
TTF および海外郵便を統合し、世界的なメーリングソリューションを提供するためにはグラフィカルイメージが必要です。画像は可変にする必要があります。「グラフィックスを印字できる機能は、当社にとって大変重要です。ビデオジェットの機器では、バーコード、住所、郵便マークを1つのプリントヘッドで印字できます」

持続可能な郵便をグラフィックス業界に導入。これは郵送会社にとって郵便コストを削減するチャンスです。現在の経済情勢において、この業界の薄利多売の性質を考慮すると、コストを下げ最終収益をサポートする方法があれば大きなメリットとなります。

ビデオジェットでは、ビデオジェットのユーザーインターフェイスソフトウェアを通してデータベース内の住所とプリンタを同期させることで、郵便ソリューションプロバイダーの要件をサポートします。これにより、正しい住所が印字されると確信できます。さらに、ビデオジェットでは、洗浄液や使用済みのインクの回収と廃棄を行う、廃棄物処理サービスを提供しています。

PackPost社は、BX プリンタを導入して以来、数多くのメリットを実感しています。「ダウンタイムが削減され、1つのプリントヘッドしか使わないということは、消耗品も設定もメンテナンスも少ないことを意味します」





新しい Videojet BX を使用した毎日の操作タスクについて尋ねると、Calvin 氏はこう説明しました。「起動が非常に簡単です。ビデオジェットは非常に使いやすく、生産時間を節約してくれます。溶剤の交換は、キャビネットを開けて、すばやく行うことができ、汚れることもほとんどありません。ぶつけてしまったり気温の変化があったりしても、以前の機器のように影響を受けることはあまりありません」

Trudy 氏は満足そうにこう話してくれました。「計算したところ、消耗品について 20% 節約しました。これには生産性は含まれていません」

以前はサービスメンテナンスを 6 か月ごとに行い、消耗品は毎月交換する必要がありました。今では PackPost 社は、12 か月ごとの点検で済んでいます。

Calvin 氏はこう付け加えます。「バックアップサポートも非常に優れています。この環境に投資するとき、サービスプロバイダーを 24 時間利用できるという安心感が必要でした」

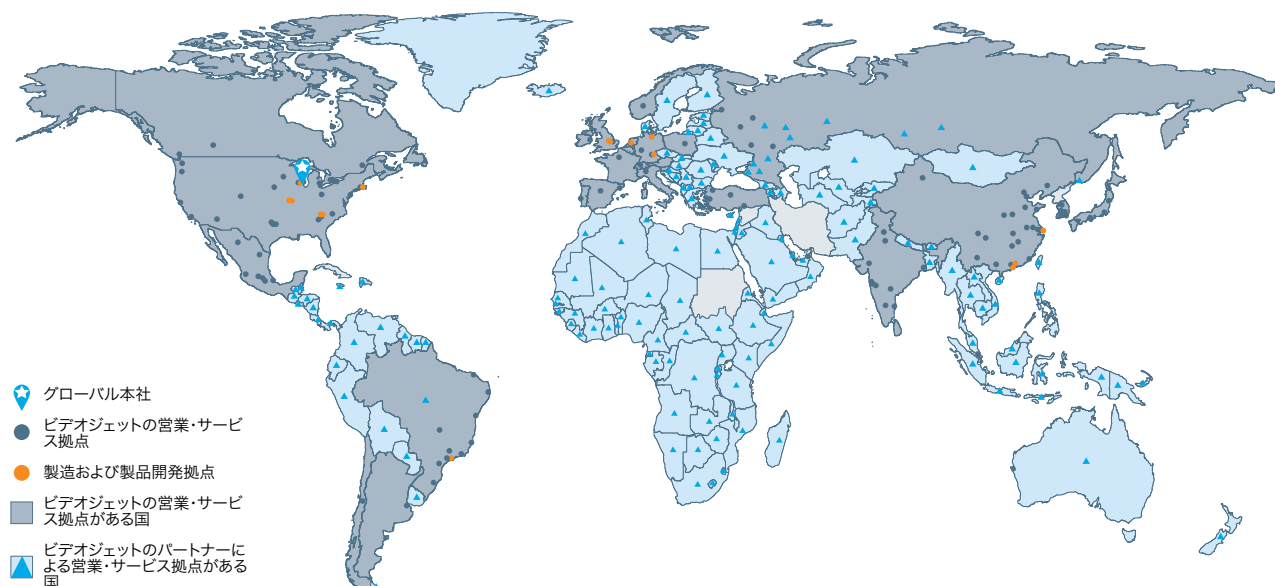
「私たちはビデオジェットの印字品質とサポートに大変満足しています。お客様からも好意的なフィードバックをいただいています。ビデオジェットが PackPost と共に成長し、この先もずっと、私たちの印字要件を満たしてくれることを期待しています。」

安心がビデオジェットの標準

ビデオジェットは、産業用印字のグローバル市場で活躍する企業です。印字用装置、特定用途向けに開発されたインクや溶剤、そして製品のライフサイクルを通じたサポートを提供してきました。

当社の目標は、コンシューマ向けパッケージ品、医薬品、工業用品などを製造するお客様とのパートナーシップを通して、そのお客様が生産性を強化することでブランド価値の保護や向上を図り、業界トレンドや法規制遵守で業界のリーダーとなるお手伝いをする事です。産業用インクジェットプリンタ（小文字用）、サーマルインクジェットプリンタ、レーザーマーキング技術、産業用サーマルプリンタやラベラーなどの製品分野で専門的ノウハウや先端技術を有するビデオジェットは、世界で345,000台を超えるプリンタの納入実績があります。

ビデオジェット製品は、販売先で1日100億を超える製品に印字を行っています。世界26か国の直営事業所で4,000名以上のスタッフが、製品販売、設置やトレーニングのサポートを提供しています。また、流通ネットワークには400以上の代理店業者およびOEMが含まれており、135ヶ国でサービスを提供しています。



TEL: 0120-984-602

E-mail: info@videojet.co.jp

URL: www.videojet.co.jp

ビデオジェット社

〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10

テレコムセンタービル 西棟 6F

© 2016 Videojet Japan — All rights reserved.

ビデオジェット社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。

